

近畿地方整備局 入札監視委員会（令和元年度第一部会第2回定例会議）審議概要

開催日及び場所	令和元年9月13日（金） 大阪合同庁舎第1号館 第一別館 3階 302会議室					
委員	神田 彰 （(公社)関西経済連合会 理事）・（今回抽出担当） 木村 亮 （京都大学大学院 教授） 高橋 司 （勝部・高橋法律事務所 弁護士）・（第一部会長） 横田 直和 （関西大学 教授） （五十音順、敬称略） （欠席） 熊谷 礼子 （帝塚山大学 教授）					
審議対象期間	平成31年4月1日 ～ 令和元年6月30日					
抽出案件	総件数8件（工事4件、業務3件、物品・役務1件）					
	契約方式	件数	件名	契約日	契約業者名	契約金額
工 事	一般競争入札 (WTO 対象)	1 件	弘法川排水機場ポンプ設備 新設工事	R01.6.24	クボタ機工(株)	515,900,000
	一般競争入札 (WTO 対象外)	2 件	付替県道14号橋下部工事	R01.5.24	(株)佐々木土建	73,656,000
			猪名川河川事務所受変電・ 発電設備設置工事	R01.6.6	藤村電業(株)	101,200,000
	指名競争入札	1 件	京都農林水産総合庁舎本館 改修等工事	H31.4.18	(株)内田組	226,800,000
業 務	簡易公募型競争入札	1 件	気象予測業務	R01.6.10	(一財)日本気象協会	24,959,000
	公募型プロポーザル	1 件	阪神地域道路環境調査業務	R01.5.29	バシフィックコンサルタンツ(株)	101,816,000
	簡易公募型プロポーザル	1 件	淀川左岸線延伸部地質リスク検討業務	R01.5.24	(株)建設技術研究所	16,720,000
役務及び物品	企画競争入札	1 件	平城宮跡歴史公園第一次大 極殿院南門復原第一回特別 公開運営他業務	H31.4.22	(株)電通	9,407,000
委員からの意見・質問、 それらに対する回答等	意見・質問			回 答		
	別紙のとおり			別紙のとおり		
委員会による意見の具 申又は勧告の内容	なし					

意見・質問	回答
<p>【報告事項】</p> <p>■指名停止措置の運用状況（前回の補足説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に質問なし。 <p>■談合情報等の発生状況（前回の補足説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に質問なし。 <p>■四半期毎の発注状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に質問なし。 <p>■指名停止措置の運用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・履行不能による指名停止措置の説明資料に、完工すべきだった時期などの情報を明記した方が、行為の悪質度が分かり安いと思うが如何か。 ・落札決定後の契約辞退について、入札者は落札したか否かは分からないので、辞退届の提出のタイミングが難しいのではないかと。電子入札では直ぐに落札したか分かるのか。 <p>■談合情報等の発生状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工程表の酷似については、当事者が立証すべきなのか。 ・例えば、両当事者（代表者）が夫婦であると言うだけで、排除しても良いのでは。 <p>■再度入札における一位不動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に質問なし。 <p>■低入札調査対象工事・業務の発生状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に質問なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の資料からデータを入れることとしたい。 ・施工体制確認後に落札決定を行うので、入札後すぐに落札者が分かるということではない。 ・落札しているか否かにかかわらず、直ぐに辞退届を提出して貰っていたら、指名停止にもならず、また契約手続も続行できていたということである。 ・当該事案については、疑義が晴れないため排除することとなった。 ・排除に対し不服があれば、申立の手続きを取って頂くことになっている。 ・人的に近い関係であっても、独立していれば問題はないと考える。

<p>■一者応札の発注状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に質問なし。 <p>■不調・不落の発注状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に質問なし。 <p>■高落札率の発注状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に質問なし。 <p>・報告については了承とする。</p> <p>【審議】</p> <p>■抽出案件結果報告</p> <p>■抽出案件説明及び審議</p> <p>●1. 一般競争入札方式(WTO 対象) (弘法川排水機場ポンプ設備新設工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札金額について、比較的ばらつきがある印象を受けたが、原因についての分析は。 ・無効となった2者のヒアリング辞退の理由は聞かないのか。見積りに齟齬がある場合など辞退の理由を聞くことが有効ではないのか。 ・予定価格の積算に誤りはなかったのか。 ・本件は了承とする。 <p>●2. 一般競争入札方式(WTO 対象外) (付替県道14号橋下部工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域要件を嶺北地域に限っているが、考え方は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の機器の価格について、各企業の見積額がばらついたことが原因と考えられる。 ・膨大な資料の提出の後のヒアリングとなるため、そこまで無理して受注しないのではないかとと思われる。 ・受注した業者は、自信があったので、施工体制確認のヒアリングに応じたと思う。 ・何度もしっかり確認しているので、大丈夫である。 ・本工事は1億円未満なので、嶺北地域としている。2億円以上の場合は、福井県全域となる。
--	---

<p>・福井県では、北陸新幹線等の大規模事業で、業者が難しい状況にあるが、資格要件について柔軟な対応が必要ではないか。</p> <p>・本件は了承とする。</p> <p>● 3. 一般競争入札方式(WTO 対象外) (猪名川河川事務所受変電・発電設備設置工事)</p> <p>・入札価格のばらつきが、2～3グループに分かれているようだが、理由としては何が推測されるのか。</p> <p>・機器の価格ということであれば、通常カタログ価格の半値～4掛けとかになり、ほぼ同じような金額になるのではないのか。</p> <p>・受注実績づくりのためには、しばらく苦労が続くと思われる。</p> <p>・本件は了承とする。</p> <p>● 4. 指名競争入札方式 (京都農林水産総合庁舎本館改修等工事)</p> <p>・入札額が「0」が並ぶ(まるい数字)が、最近では珍しいのでは。</p> <p>・2者が同額と言うことだが、細かいところまで、積算されるのではないのか。</p>	<p>・コリンズのデータによると、嶺北地域だけでも対象が22者あることを確認している。福井県全体でも29者であり、さほど競争性が広がるわけではない。</p> <p>・福井では、新幹線・足羽川ダム・中部縦貫道路などで、トンネルや橋梁などの大きな工事が多いため、Cランクの業者は下請け受注となる場合もある。元請けとして受けたいと強い思いに対しては、地域要件はあまり広げずに、受注機会を作ることが大事だと考えている。</p> <p>・機器の価格が大半であり、取引の関係で見積価格にばらつきがあると思われる。</p> <p>・チャレンジ型での発注であり、今まであまり参加していない業者だと、メーカーとの付き合い度合いの違いがあるのではないかと思われる。</p> <p>・建築などの営繕関係では、けっこうキリの良い数字での入札が多い傾向である。</p> <p>・積算については、内訳書を提出頂き、予定価格の内訳との確認もしている。</p>
---	--

<ul style="list-style-type: none"> ・当初の入札が不調に終わって、指名競争に移行したとのことだが、予定価格は変わっていないのか。 ・結果的に、6者の指名で4者が辞退であるが、どういう状況だったのか。 ・人気のない原因は、何が推測されるのか。 ・業者の選定結果のなかで、一者だけ技術評価点が「0」があるが、なぜなのか。 ・本件は了承とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じです。 ・指名の段階では参加頂ける状況ではあったが、中々人気がないというか応札が厳しい状況であったのだと考えている。 ・地域的な面もあると思うが、工事の内容が新築ではなく改修工事であり、金額的な面も人気がない原因だと思われる。 ・民間の実績のみで、公共工事の実績がないためである。
<p>● 5. 簡易公募型競争入札方式 (気象予測業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この業務は、エンドユーザーとして車を使うための必要な情報の提供ということか。 ・業務実績に対して、点数はつけるのか。 ・毎年、同じ業者が受注しているのか。 ・説明資料のシステム構成図に日本気象協会とあるのは、落札者としての日本気象協会のことか、それとも日本気象協会のデータを使用する事となっていたのか。 ・本件は了承とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気象情報サイトで公開し一般に提供すると共に、事務所の担当職員の携帯電話に気象予測のメールが送信されることになっている。 ・業務完了後に検査をして、成績に応じて加点している。 ・成績が良いと加点が多く優位に働くので、結果的に同じ業者になっている。 ・当該資料は、落札者である日本気象協会の計画書から抜粋した資料である。
<p>● 6. 公募型プロポーザル方式 (阪神地域道路環境調査業務)</p>	

<ul style="list-style-type: none"> ・特に質問なし。 ・本件は了承とする。 <p>● 7. 簡易公募型プロポーザル方式 (淀川左岸線延伸部地質リスク検討業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価では良いと思うが、プロポーザル方式において技術評価点で満点が並ぶのは変な感じがする。差をつけないと、業者は納得しないのではないか。 ・結果的に採点が満点になるのは、客観性に欠ける。プロポーザル方式では、考えた方が良いのではないか。 ・同じ満点であっても、例えばテーマ1とテーマ2ではどちらかが少しウエイトが高いたかで差が出る様な考え方とかで評価してはどうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・本件は了承とする。 <p>● 8. 企画競争入札方式 (平城宮跡歴史公園第一次大極殿院南門復原第一回特別公開運営他業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加申請者は1者だけだったようだが、想定ではどれくらい、ありそうと考えていたのか。 ・企画提案書の評価結果が全体的に低いようだが、どういう内容だったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれキーワードを設けて、チェックリストできっちり評価した結果である。 ・全者が満点になるのは、レアなケースである。評価項目については、杓子定規になっていないのかは、今後確認していく。 ・そういう事であれば、テーマ1とテーマ2で点数配分を予め変えておくことになる。 ・評価時に恣意性が働かないように、事前に評価内容を決めているので結果として同点になったと認識している。 <ul style="list-style-type: none"> ・7～8者程度を想定していた。また、説明書の受け取りは3者あったが、参加しなかった業者に理由を確認した結果、参加資格としたイベント業務管理士1級が不在だったのが一者、他の業務を受注したとの理由が一者だった。 ・企業の業務経験及び能力ではワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標である認定がなかったこと、実施方針では工程に考え方の違いがあったこと、特定テーマに対する提案では独創性が低かったことによる。
---	---

<ul style="list-style-type: none">・イベントの様子、状況はどうだったのか。 ・本件は了承とする。 ・全体を通して何か意見はあるか。 ・審議事項についてはすべて了承とし、審議事項については終了とする。	<ul style="list-style-type: none">・記念式典の招待者は100名、特別公開での入場者数は2日間で2,000名であり、概ね思惑どおりの出来だった。
---	--